

KAIKAKU-PROJECT

2020

年次報告書

ANNUAL REPORT2020

NPO法人改革プロジェクト





活動のお礼とご挨拶

2010年9月に団体を設立してから10年の月日が経過しました。これまで団体の活動を維持することができたのは、活動を支えてくださった皆さまの存在あってこそです。改めて、この場を借りて御礼申し上げます。

この10年は組織としての存在意義に向き合い続けてきた日々でした。確固たる価値やアイデンティティを持ち得てスタートした訳でもなかったのに、迷走や葛藤を繰り返しながら歩み続けてきました。当初から比べると団体が目指す方向性も大きく変容しましたが、10年を経て、ようやくスタートラインに立てたように感じています。

これからの10年、支えていただいている皆さまの期待に応えられるよう、精一杯取り組みを進めていきますので引き続き、改革プロジェクトをよろしくお祈りいたします。



代表理事
立花 祐平

改革プロジェクトの10年の歩み

改革プロジェクトは2010年の設立以降、海辺の環境保全活動と安心して暮らせるまちをつくる防犯活動の両輪で取り組みを進めてきました。

- 2010.09 任意団体設立
- 2012.01 防犯パトロール事業開始
- 2013.01 パトラン開始
- 2014.07 NPO法人格取得
- 2014.12 住友生命「YOUNG JAPAN ACTION」グランプリ受賞
- 2015.08 パトランJAPAN発足
- 2016.01 パトラン商標登録
- 2017.10 マニフェスト大賞受賞
- 2018.07 スポーツ振興賞「スポーツ庁長官賞」受賞
- 2020.03 認定NPO法人格取得
- 2020.09 設立10周年

団体概要

名称 認定NPO法人改革プロジェクト
 設立 2010年9月(2014年NPO法人格取得)
 所在地 福岡県宗像市赤間3-5-1-204

役員

代表理事 立花 祐平
 理事 時安 里江
 理事 高堂 大輔
 理事 吉田 真二
 理事 栗原 咲子

PATROL RUNNING

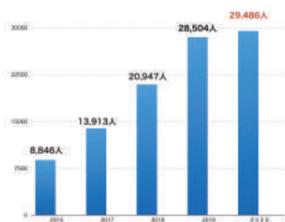
パトロール実績

全国各地で1年間でのべ**29,486**人がパトロールを行いました。
 パトランにより街を見守った時間は**27,767**時間となります。

活動人数(2019.4.1~2021.3.31)

29,486 人

全国での活動人数は年々増加しています。2020年は前年と比較して、982人増加し過去最多の人数となりました。



活動時間(2020.4.1~2021.3.31)

27,767 時間

パトっちの導入によりパトロール時間を可視化することができました。時間による防犯活動の成果を目に見える形にしていきたいと考えています。

これまでの累計実績

活動人数(2016~2020)

104,659 人

活動時間(2019~2020)

39,219 時間

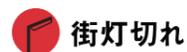
街の異変の報告

全国各地で**223**件の現場対応と**1213**件の街の異変を報告しました。
 そのうち、**291**件が改善されました。

パトラン中に発見した事案は行政や警察へ通報連絡することで、安心して暮らせる地域づくりに努めています。

救命/人助け

34 件



144

602

不審人物・車両

14 件



5

18

交通事故

2 件



31

207

その他

173 件



53

171

合計223



落書き

4
14



道路の危険箇所

59
219

改善合計 296

報告合計 1231

犯罪件数の減少

日本全国の刑法犯の認知件数は**614,231**件となり、2019年度より**134,328**件減少し、戦後最少の犯罪数となりました。

主要犯罪
件数内訳

性犯罪

5,486 (6,305)

ひったくり

877 (1,553)

放火

786 (840)

窃盗

417,291 (532,565) 2020年(2019年)

パトランチームが活動する地域における2020年の刑法犯の

認知件数は**42,925**件減少しました。2019年度減少数 18,822件

主な地域別
の減少件数

東京都

-21900 件

兵庫県

-6149 件

京都府

-3285 件

福岡

-9476 件



(福岡市、北九州市、宗像市、糸島市、福津市、久留米市)

パトランの展開

全国**40**都道府県で活動を展開し、登録メンバーは**2,299**人となりました。
 新たに**1**つのパトランチーム(茨城古河チーム)がスタートしました。

ACTION FOR NATURE

自然環境の保全

1年間でのべ**256**人が活動に参加し、**428**kgのごみを回収しました。

ADVENTURE

RUN FOR BLUE

サステナブルFISHING

Beach Clean

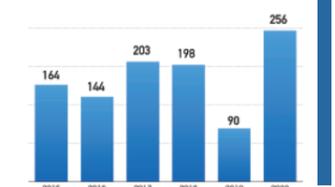
146 人

23 人

24 人

63 人

参加者の推移



これまでの累計実績

参加人数(2015~2020)

1,068 人

回収ごみ量(2015~2020)

8,142 kg



時安 里江

『活動以外でも無意識に防犯視点で街を視ている』とパトランナーの皆さんがよく口にします。街の異常や異変に気づく事はパトランナーとしての使命です。2020年度のコロナ禍で活動が思うようにできない中で活動実績は、質の高い活動の成果であり、微力ではありますが事件や事故の抑止には繋がっていると確信しています。

Renew

団体設立から10年の節目を迎え、団体としてのVISION、MISSIONをリニューアルしました。

コンセプト // - concept -

VISION

すべての人々に居場所と役割があり、心豊かに暮らせる社会

MISSION

一人ひとりに意欲が育まれる機会を

私たちは今、先行きが不透明な大海原を航海しています。物質的な豊かさや利便性は向上した反面、これまで人々を結びつけていた地域や家族、企業などの結びつきが弱まるにつれて、つながりを失い、孤立という海へ放り出される人も増えています。人口減少・高齢化と抗えない波が押し寄せ、人とのつながりが希薄化し、無機質な世の中へと変容していく中で、私たちが目指すのは、それぞれが自分自身の役割を感じとれる居場所のある社会です。

- キーフレーズ -

MISSIONに基づいた活動を推進していく中で、私たちが大事にしたい言葉が「TAKE ACTION !!」です。活動を通じて、共に行動できる仲間をあらゆる場所に作っていきたくと考えています。私たちは、特定の誰かではなく、一人ひとりの小さな積み重ねの中にこそ、まだ見ぬ社会を切り拓く可能性があると感じています。

TAKE ACTION !!

ロゴ // - Rogo -

団体のロゴも新たにリニューアルしました。スポーツを連想させる躍動感と新たなことにチャレンジする先進性を表現するデザインとなっています。団体キャッチフレーズである「スポーツで挑む、社会課題」の言葉も入れています。

**kaikaku
project**

スポーツで挑む、社会課題
kaikaku project

スポーツで挑む、社会課題
**kaikaku
project**

活動内容 // - Activity -

- スローガン - スポーツで挑む、社会課題

スポーツをという手段として用いることにより、防犯と環境分野において以下の取り組みを進めています。私たちは、活動を通じて、スポーツの新たな価値を創り出していくことを目指しています。

防犯活動

PATROL RUNNING

事業名

スポーツカテゴリ



- Run -

- 解決したい課題 -

主に以下の課題解決に向けた活動を進めていきます。

- Issue 01 -

街頭犯罪の減少と体感治安の向上

- Issue 02 -

防犯活動の担い手の高齢化と減少

- Issue 03 -

社会的孤立

環境活動

ACTION FOR NATURE

事業名

スポーツカテゴリ

ADVENTURE

- MARATHON -

RUN FOR NATURE

- Run -

サステナブルフィッシング

- Fishing -

Beach Clean up

- Activity -

- Issue 01 -

海洋ごみ問題 / Ocean Protection

- Issue 02 -

水生生物の保護 / Biological Protection

- Issue 03 -

気候変動 / Climate Change



栗原 咲子

団体設立から10年の節目を迎え、団体のVISION、MISSIONをリニューアルしました。これまで活動に参加いただいた方々との関わりから、社会に暮らす誰もが課題解決の担い手になり得ることそのことが本人にも大きな充実をもたらすことに気がつきました。私たちは、環境、防犯など社会課題解決のアクションを通じ、すべての人が社会活動への関わり方に気づき、想いを持って関わり続けられる居場所を見つけられることを目指し、自らの力が役立つ喜びを感じられる機会を生み出していきます。

パトランでの取り組み

2,000人突破!

メンバー数 **2,299** 人

実施都道府県 **40** 都道府県

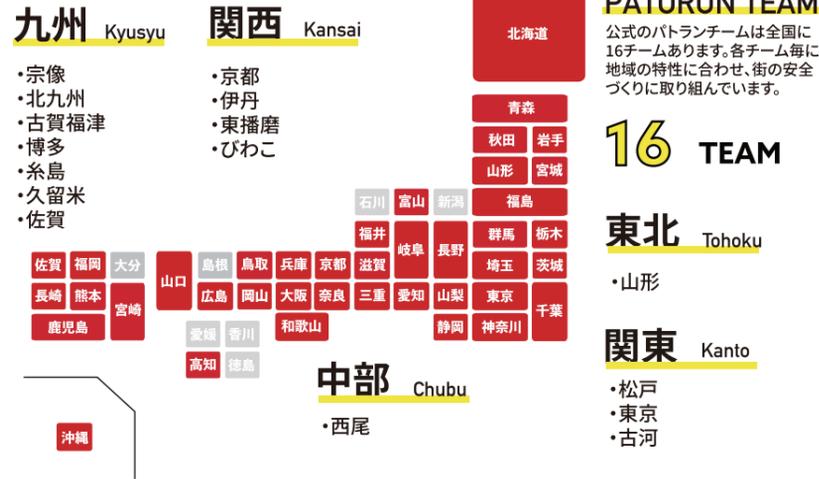
パトランを実施している都道府県は40(昨年比+2)となり活動人数は、合計2,299人(昨年比+291人)となりました。



メンバー数の推移

全国での活動人数は5年間で3倍に増えています。

パトランJAPANの展開



PATORUN TEAM

公式のパトランチームは全国に16チームあります。各チーム毎に地域の特性に合わせて、街の安全づくりに取り組んでいます。

16 TEAM

東北 Tohoku

・山形

関東 Kanto

・松戸
・東京
・古河

中部 Chubu

・西尾

活動による成果

パトラン中に発見した事案は行政や警察へ通報連絡し、安全なまちづくりへ貢献しています。

現場での対応

救命／人助け **34** 件

パトラン中の人助けを行った件数を表しています。路上で倒れている人や行方不明となった子どもを探すサポート、認知症徘徊の老人を家に送るなど内容は多岐に渡ります。

不審人物・車両 **14** 件

路上にとまっている怪しい車や不審人物を発見した際に、通報や声かけを行いました。

交通事故 **2** 件

交通事故現場に遭遇した際に交通誘導や警察への通報、当事者への声かけなどを行いました。

その他

財布や貴重品などの落し物を発見し警察への届出や反射タスキの市民への配布などがあげられます。

173 件

街の異変の報告と改善

街灯切れ

報告 **44** 件 改善 **692** 件

路上の街灯の電球切れを発見した場合に行政や自治会などに報告を実施しています。

放置車両

報告 **18** 件 改善 **5** 件

路上に放置されている自動車・バイクの回収依頼を行います。

放置自転車

報告 **207** 件 改善 **31** 件

手づかずに残っているまま放置されている自転車の回収依頼を行います。

不法投棄

報告 **171** 件 改善 **53** 件

粗大ごみの投棄など手付かずとなっているごみを発見した場合に、報告と改善の依頼を行います。

落書き

報告 **14** 件 改善 **4** 件

落書きを発見した場合、行政管轄場所に報告を行い、現場環境の改善を要望します。

道路の危険箇所

報告 **219** 件 改善 **59** 件

道路上で事故につながる危険のある場所を発見した場合、報告と改善の依頼を行います。

課題へのアプローチ

刑法犯認知件数

2020年度の全国での刑法犯の認知件数は前年と比較すると**134,328件減少**し、戦後で最も少ない件数となりました。



担い手づくり

1年間で291人が新たにパトランメンバーに登録いただきました。

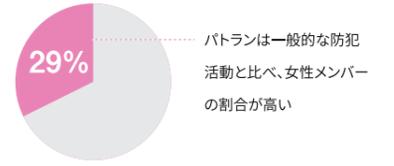
社会的孤立

パトランを通じて地域や社会との接点生まれ、人とのつながりやウェルビーイング向上につながることを検証できました。

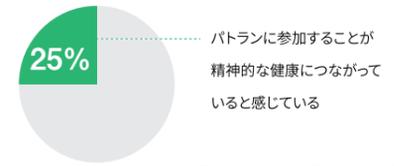
メンバーの内訳



女性参加率



パトランは一般的な防犯活動と比べ、女性メンバーの割合が高い



パトランメンバー向けアンケートより

分野別の取り組み

新型コロナウイルス支援

走って泳いでチャリティーだポン!

11月27日から29日までの3日間、参加者全員でランニング、スイミングを行い合計5670km(コロナゼロ)を目指すという、オンラインチャリティーイベントを認定NPO法人プール・ボランティアさんとともに実施しました。参加者54名、大会総距離1718km、イベントで集まった参加費など合計100,152円を「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」へ寄付しました。

大阪府への寄付額 **100,152** 円



スポーツの力で日本を元気にコロナに負けないという気持ちのもとオンラインでのチャリティーイベントを初めて開催しました。目標達成はなりませんが、スポーツによるオンラインイベントとチャリティーの親和性、可能性を確認できたと感じています。



高堂 大輔

災害被災地支援

災害被災地支援

マラソン大会の記念でもらうTシャツやタオルを募り、集まったものを熊本県人吉市の災害支援団体へ提供しました。



提供Tシャツ及びタオルダンボール4箱分、アルコール除菌シート、マスク

街の環境美化

ポイ捨てタバコ撲滅アクション

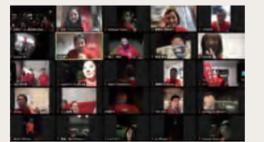
ポイ捨てたばこの撲滅に向けたアクション「pot contentチャレンジ」を8月に開催しました。



回収たばこ本数 **25,924** 本

オンラインの活用

マラソン大会の記念でもらうTシャツやタオルを募り、集まったものを熊本県人吉市の災害支援団体へ提供しました。



表彰



CONTEST

2020年度のスポーツ庁主催の「INNOVATION LEAGUE コンテスト」ソーシャル・インパクト賞においてパトランの取り組みが最終ノミネートプロジェクトに選定されました。

警察署からの感謝状の贈呈
パトラン山形チーム
(米沢警察署)
パトラン佐賀チーム石田洋一さん
(佐賀北警察署)



Adventure



Adventureは、冒険の地図を広げて名所やグルメ巡り、ビーチクリーンなどチームで数々のクエストをクリアし、ゴールを目指す冒険型マラソンです。プログラムの中に社会課題の解決や地域活性につながるクエストを盛り込みまるでRPGゲームを進んでいくかのように、楽しみながら社会に貢献することができます。



参加人数

146 人

参加チーム

47 チーム



4.5 /5

大会満足度

参加者の声

- ・地元のボランティアの方々がとても温かく、笑顔で応援してくださり、元気をいただきました。2年越しでようやく開催できた主催者の安堵の気持ちと、地方活性化への意気込みが随所に感じられました。
- ・想像以上にプラスチックゴミが多く、大会を通じてプラスチックのことを考えるようになった。
- ・単に走るだけのマラソン大会と違い、グルメや観光など楽しむことができました。
- ・マラソン初心者ですが、走るだけでなくビーチクリーンや名称めぐり、グルメスポットめぐりなど楽しみ方が多様で楽しかったです。地元民ですがお店開拓もできましたし、終わってからも行ってみたいお店ができました。

回収ゴミ

340 kg

ボランティア

58 人

エリア内に設けた3ヶ所のビーチクリーンスポットで回収した漂着ゴミ及び沿道のごみの総量は340kgとなりました。一般的なビーチクリーンイベントと比較し、Adventureでは、より多くの人が参加し、効率的に広範囲のごみを回収することが検証できました。



冒険MAP



冒険カード



Run For Nature

Run for Natureはランナーが個々人で取り組むソーシャルアクションです。海を走りながらクリーンアップする「Run for Blue」山・川・森を走りながらクリーンアップする「Run for Green」フィールドは自然の中で、ランニングしながらごみを回収していきます。ランニングによる機動力を活かし、広範囲のごみを拾いつつ健康促進にもつながります。



参加人数

23 人

回収ゴミ

38 kg

Sustainable Fishing

サステナブルFishingは、釣りを通じて、子どもたちの環境意識を育むことを目的とした取り組みです。釣り竿は竹で作り、餌は自然で採取し、釣れた外来種は堆肥として活用します。自然のライフサイクルに即した持続可能な要素を組み合わせています。

参加人数

24 人



8月23日に宗像市にて、第1回大会を開催しました。使用する釣り竿は、放置竹林となった里山の竹を利用し、餌はミミズなどの自然のものや外来種であるジャンボタニシなどを利用しました。普段釣りとは疎遠な家族が多く、子どもにとって有意義な時間を提供することができました。

Beach Cleanup

10月17日に宗像市鐘崎漁港にてTOTO株式会社様との協働での活動を行いました。1時間程度の活動でしたが、多くのマイクロプラスチックや発砲スチロール、漁具、家庭ゴミなどを回収しました。



海岸には、多くの漂着物が流れつき、砂浜にはたくさんのプラスチックゴミが埋もれ子どもたちが裸足で遊べる環境が損なわれています。

参加人数

63 人

回収ゴミ

50 kg

私も居場所をつくって もらっているひとり

私がパトランのことを知り、改革プロジェクトの活動へ参加するようになったきっかけは、住友生命「YOUNG JAPAN ACTION」の受賞を受賞し、浅田真史さんが宗像で行われたパトランに参加する数ヶ月前のことでした。

当時は、増え始めたメンバーの管理をどうするかやメンバーのモチベーション維持のための方策などを考え始めた時期です。宗像チーム維持のお手伝いのために、代表の立花からスタッフ入りの打診を受けました。その当時は、まさか今のような全国組織になること、またお手伝いの内容も組織の維持・発展のための業務にシフトするとは思ってもよらなかったことです。

ただ、私の役割は変わっても、組織としての根っこの部分は変わってないように感じます。

例えば、私に関わる以前から、海岸清掃活動やパトランで写真を撮影するために参加してくださっている方がいました。

うし、そのような方を心の底から尊敬します。ただ、現実問題として、皆がみなスーパーマンになれるわけではありません。

そして、スーパーマンばかり集め、諸々の事業に参加していただくことは不可能だとも思います。

スーパーマンでなくていい、普通の人が可能な範囲で頑張っていることを認められる、そんな場が醸成されていくこと、その中の一人として組織の歯車を回していきたいと思っています。

皆で新しい常識を作り上げていく

令和2年1月以降のコロナ禍により、世の中の行動様式や常識が随分と変わりました。例えば、ランニングの際にマスク着用の必要があるのか。この一点だけを取り上げても意見は様々あると思います。例えば同じ「マスク着用は必要」という意見でも、理由は「エチケットとして、周りに配慮している姿勢を見せるために必要」であったり「飛沫の飛散を少しでも減らすために必要」であったりと、いろいろあると思います。



その方は人とのコミュニケーションが苦手で、社会との接点を築くことがあまり得意ではありませんでした。後から知ったのですが、立花が何かしらのイベント等がある際に、その方に声をかけ、写真を撮ることを依頼していたようです。

立花は団体設立時より、広報も自ら担当してきたので写真を撮ることはもちろん、それを編集したりすることを苦にしません。極論を言えば、イベントの際にはその方に写真を撮ることを依頼しなくても立花が撮ればいいのです。

では、なぜその方に写真を撮ることを依頼するのか？それに対する立花の答えは、「その方の、社会との接点をなくしたくないんですよ」というものでした。

2020年度から掲げている改革プロジェクトのビジョン「すべての人たちに居場所と役割があり、心豊かに暮らせる社会」の二つの事例だといえます。その方が撮ってくれた写真は、ホームページでも活用させていただいています。立花は、その方が改革プロジェクトを窓口として他者とのつながりを築いてくれたことが嬉しかったのだ

また、「熱中症等の危険性が増す」など、別の視点から「マスク着用は不要」と思う方がいても不思議ではありません。コロナ禍により今までの常識が通用しなくなっただと感ずる場面が多くなったのではないのでしょうか。

コロナ禍前後で時代が変わった今、皆で新しい常識を作り上げていくことが必要なのだと思います。その際には、他人を一方的に批判しないこと、「共通点はないだろうか?」「妥協点はないだろうか?」「説得する際に、相手に納得してもらいたいにはどう説明したらいいだろうか?」「相手の意見で自分が受け入れられる点はないだろうか?」という思考回路を考え、きちんと相手のことを理解すること、きちんと自分の意見を説明することが今まで以上に必要になっていると感じます。

全ての人が意見を一致させることは難しいし、不可能かもしれない。そのような状況の中でも、改革プロジェクトの事業では大多数の人に納得感が感じられる方針を決めていきたいと思っています。

と思います。

また、私自身も「居場所をつくってもらっている」ひとりと感じています。家族や仕事のことを考えると、なかなか改革プロジェクトのための時間が取れないのが実情です。そんな中でも、あなたが必葉に応えられるよう、可能な限り組織の力になれるよう頑張りたいと思っています。

スーパーマンでなくていい

欲を言えばもうひとつ。どのような方でも、家族や仕事がありパトランなどのいわゆるボランティアに割ける時間・労力は限られていると思います。それでいいのだ、その中で可能な限りの力を発揮すればいいのだ、という雰囲気改革プロジェクトの事業の中に醸成されていけばいいと思っています。

例えばパトランナーの中にも、家庭・仕事・ボランティア・趣味…何事においても中心を担い、人並み以上に活躍されているスーパーマンもいらつやいます。個々人としては、当然そのような領域を指し自己研鑽を積むべきでしょう



1980年12月29日生まれ。北九州市出身。福岡教育大学卒業後、玄海青年の家へ就職。その後、自治体職員へと転職。現在も勤務する傍ら改革プロジェクトの理事として団体の運営に携わる。

改革プロジェクト理事

吉田真二

会計報告

活動計算書 (2019年4月1日~2020年3月31日)

科目		2019	2020
経常収益	1 受取会費 正会員受取会費	316,000	83,000
	2 受取寄付金	8,957,001	2,272,652
	3 受取助成金	911,500	2,151,523
	4 事業収益 事業収益	3,314,997	1,979,740
	受託事業収益	5,000	
5 その他収益 受取利息・雑収入	132,264	8,174	
経常収益 計		13,636,762	6,495,089
経常費用	1 事業費 人件費	4,185,216	4,408,875
	その他経費	9,106,663	5,830,687
	事業費 計	13,291,879	10,239,562
	2 管理費 人件費	482,402	460,242
	その他経費	325,425	266,835
管理費 計	807,827	727,077	
経常費用 計		14,099,706	10,966,639
当期経常増減額		△ 462,944	△ 4,471,550
法人税、住民税及び事業税		71,000	71,000
過年度損益修正益		0	0
当期正味財産増減額		△ 533,944	△ 4,542,550
前期繰越正味財産増減額		4,779,461	4,245,517
次期繰越正味財産増減額		4,245,517	△ 297,033

収入の内訳



2020年度は、新型コロナウイルスの影響を受け厳しい1年となりました。大阪マラソンの中止による寄付金額の減少や、イベント等の開催自粛により、経常収益は前年と比べ約半分となりました。

大阪マラソンの中止やイベント自粛、打ち合わせのオンライン化などにより、事業費は昨年比78%となりました。パトランの事業規模は年々拡大しているため、活動維持費の捻出は2021年度の課題です。

年度別の推移



監査報告

活動計算書と貸借対照表について監査を行いました結果、会計帳簿に記載の金額と一致し、法人の収支状況を正しく示していることを認めます。

NPO法人改革プロジェクト
監事 仲西 浩一



ご支援いただいた企業・団体・個人の皆さま



株式会社木村組 株式会社シナジーグローバル 住友生命保険相互会社 株式会社セールスフォース・ドットコム

Canvas / ccottobranding / 中華菜館五丈原 / はったん亭 / 久光製菓株式会社ほっとハート倶楽部
認定NPO法人プール・ボランティア / 一般社団法人PENTAGON / 麺や道 ※五十音順・敬称略

助成金/公益財団法人住友生命健康財団

応援メッセージ



酒井 真理子さん

ある日、パートナーから「パトランで活動しとるのよ」と報告がありました。「はて、パトランとは？」走りながら防犯パトロールやごみ拾いなどなど、地域のために様々な活動をしていると知り、なんて素敵な人たち!と感動しました。私は、高校生の時、痴漢に遭い、社会人になってからは、仕事で帰りが夜遅くなってしまった日、自宅までつけられた経験があります。家族や自分自身が安心して過ごせる日をつくるのも、守るのも、私たち自身です。ただ、それは一人の力では叶わないのだと、痛感しています。かといって、私は散歩は好きだけど、走るの嫌いなので、私に何かできることはないかと思ひ、微力ながら寄附というかたちで参加させていただきました。私たちの安心安全のために活動をして下さっているパトランナーのみなさん自身の安全のために役に立てただけだと嬉しいです。パトランナーのみなさん、いつもありがとうございます。



富樫 正巳さん

マラソン大会で見かけたパトランナーが気になってホームページを調べたのがきっかけでした。活動内容に共鳴を覚え寄附させて頂きました。パトランナーとしても活動していますがゴミが減ったり挨拶のリピートが増えたり反射たすきの装着率が上がったりと成果を肌で感じうれしく思っております。日本ではまだまだ寄附文化が定着していませんが多くの方々に知って頂き賛同を得られたら良いなあと思います。

2020年度のメディア実績

テレビ

佐賀テレビ (4/10) 佐賀
NCVケーブルテレビ (10/19) 山形
佐賀テレビ (10月) 佐賀
テレビ朝日
サンデーLiv (3/28) 東京

新聞

中日新聞 (9/29) 三河新聞 (12/25) 西尾
米沢新聞 (10/19) 山形 愛三時報 (12/26) 西尾
米沢新聞 (10/22) 山形 山形新聞 (12/29) 山形
佐賀新聞 (10月) 佐賀 有明新聞 (1/22) 熊本
朝日新聞 (11/30) JAPAN 読売新聞 (2/12) 北九州
山形新聞 (12/4) 山形 朝日新聞 (3/26) 松戸

その他メディア

●WEBメディア
SUUMOジャーナル (5/1) JAPAN
2021DAYS (7/10) JAPAN
●ラジオ
京都ローカルラジオ



スポーツで挑む、社会課題

kaikaku
project



認定 NPO 法人改革プロジェクト

〒811-4146

福岡県宗像市赤間 3-5-1-204

E-MAIL information@patorun.com

改革プロジェクト 検索



パトラン 検索

